英語統一試験
（TOEIC Bridge® IP）



【対象】音楽学科・メディア創造学科・現代社会学部
薬学部・看護学部・日本語日本文学科・生活科学部

１年次英語必修科目である「Comprehensive English Ⅱ」「Communication in English Ⅱ」では、授業の一環として英語統一試験（TOEIC Bridge® IP）の受験が対象学科の学生全員必須となっています。
学生の皆さんには情報処理自習室や自宅等で PC を利用し受験できる TOEIC Bridge® IP テスト（オンライン）を受験していただきます。実施方法の詳細については、下記要領をご確認ください。

4月	1年次	1年次	1年次	11月	2年次	2年次
プレイスメントテスト	クラス分け	春学期授業	秋学期授業	英語統一試験	クラス分け	春学期授業

✧ **受験期間 （予定）**

１１月６日（金）午前９時００分 ～ １１月１６日（月）１６時００分

1. TOEIC Bridge とは

TOEIC (Test of English for International Communication) は、米国非営利テスト開発機 ETS (Educational Testing Service) が開発・制作しているテストで、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。TOEIC Bridge は英語学習中級者までを対象とした、日常生活における活きたコミュニケーションに必要な"英語で聞く・読む能力"を測定するテストです。TOEIC と比べてビジネスの要素を省き、日常的なシーンにおける英語コミュニケーション能力の測定を主とする点が特徴で、企業や大学などでのレベルチェックなどに幅広く利用されています。

2. 受験の概要

➢ 受験方法

一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会（ip-online@iibc-global.org）から大学のメールアドレス（@dwc.doshisha.ac.jp のアドレス）宛に、「（受験者情報登録完了通知）TOEIC Bridge IP テスト（オンライン）」というメールが送信されます。メールに記載された URL にアクセスし、必要事項およびアンケートに回答しオンライン試験を受験してください。詳細は「TOEIC Bridge L&R IP オンライン受験のしおり」を参照してください。
後日、本学 Web サイト（「教務情報」に掲載予定）を参照してください。

➢ 注意事項

- 受験料は無料です。全額、本学が補助します。
- 上記の受験期間に受験しなければなりません。期間外に受験した場合は、受験料を補助しません。
  また、期間外に自費で受験したとしても、統一試験のスコアとしては受け付けません。
- PC の動作環境等の不具合により受験できない場合、試験時間の延長や再試験の措置は行いません。

3. 春学期（入学前）と比較して英語運用能力を測ることができます

入学前に英語プレイスメントテストとして TOEIC Bridge を受験した方は、春学期から秋学期にかけて英語運用能力がどれだけ身についているか測ることができます。英語運用能力の伸びを実感することで、さらなる英語学習へのモチベーションアップにもつなげてください。

4. 成績（スコア）の取扱い

① 「Comprehensive English Ⅱ」、「Communication in English Ⅱ」の成績の一部に算入されます。（シラバス参照）
※但し、社会システム学科 CASE クラスは対象外です。

② 2 年次英語科目のクラス分けに使用します。Reading の成績は 2 年次の「Comprehensive English Ⅲ, Ⅳ」の、Listening の成績は「Communication in English Ⅲ, Ⅳ」のクラス分けにそれぞれ使用します。いずれも「Comprehensive English Ⅲ, Ⅳ」、「Communication in English Ⅲ, Ⅳ」が設置されている学科のみが対象となります。
※社会システム学科については、「Academic Reading and Discussion Ⅰ, Ⅱ」のクラス編成に使用します。
ただし、CASE Program のクラス分けは、学科独自の基準によります。

③ スコアの確認方法
受験者は、テスト終了直後に自身のスコアを確認することができます。また、受験者専用サイトにおいてスコアを再度確認することができます。紙のスコアレポートは送付されません。オンライン上に表示される PDF ファイルを各自でダウンロードし、確認してください。

※結果確認開始日より 1 か月経過後、結果の確認ができなくなりますので
スコアをダウンロードまたは印刷して保管してください。

5. 留意事項

「Comprehensive English Ⅱ」「Communication in English Ⅱ」「英語講読ⅠB」「英語コミュニケーションⅠB」が不合格になり、次年度以降に再履修する場合には、これらの科目の一環として再度、英語統一試験（TOEIC Bridge® IP テスト）を受験することになります。本学では皆さんの英語力向上のために、全学生が利用可能な英語自主学習プログラム『スーパー英語』を導入しています。学内外のパソコンからアクセスして自分のペースで学習を進めることができる、非常に効果の高い優れたプログラムです。ぜひ積極的に利用してください。（利用方法については、授業での配布資料または本学 Web サイトを確認してください。）